

推薦(※0)を受けようとする者は、以下の条件のA&B&(C or D or E or F)を満たしていること。推薦者の募集は、大会年の5月に行う。

【条件】

- A. 全国大会出場資格を満たす者
- B. 情報配線施工技能検定2級取得者(見込み含む)(※1※2)
- C. 情報通信配線技術フォーラム2010(※3)において条件を満たした者(※4)
- D. 第47回技能五輪全国大会における入賞者(※5)
- E. 1社1名のみ出場する者(※6)
- F. C～Eで定員に充足しない場合は、申込者の中から充足する。その際、以下の優先順位を設ける。
 - (a)当協議会が特別に推薦する者
 - (b)抽選(※8)

※0 本推薦は、当協議会が中央職業能力開発協会からの依頼により推薦者名簿を提出するもので、出場のためには各党道府県が承認後に別途申し込みが必要である。

※1 平成22年度入社1年目の者あるいは学生は、3級取得で良い(推薦時に3級受検見込みでも良い)。

※2 推薦時に2級を受検見込みの者も推薦するが、不合格となった場合は、出場辞退することが望ましい。また、【条件C、D】に該当する者は、これを満たしていなくても良い。

※3 2010年1月に実施する予定である。また、この大会には【条件D】のメダリストは出場不可とする。

※4 別紙参照

※5 金・銀・銅賞のみ。平成22年度は対象者3名(銀1名、銅2名)

※6 推薦枠を4名(4社)とする。推薦を受けようとする企業は、※3に出場すること。ただし、必ずしも全国大会に出場予定の者でなくても良い。4名の枠を超えた場合は、条件Fに準ずる。

※7 (社)情報通信エンジニアリング協会、(社)情報通信設備協会、全日本電気工事業工業組合連合会、等と調整し、1名を推薦する。

※8 原則として、1社あたり2名以上の推薦を受けている企業は対象から除外する。

※9 1社あたりの推薦上限数は5名とする(ただし、条件Dの者を除く)。

※10 第48回大会の参加定員は20名の予定である。従って、※3の予選会では、以下の人数を推薦する予定である。

$$\text{推薦数【条件C】} = 20\text{名} - (\text{【条件D】}3\text{名}) - (\text{【条件E】}4\text{名}) = 13\text{名}$$

なお、第48回大会の定員が増えた場合には、【条件F(a)】による。

情報通信配線技術フォーラム2010
第48回技能五輪全国大会予選会通過条件

平成21年11月

特定非営利活動法人
高度情報通信推進協議会

以下を予選会通過条件とし、合計13名(予定)を第48回技能五輪全国大会に推薦する。

【条件】

1. 「情報ネットワーク施工」職種予選会(光)の各回(1)(2)(3)において、上位1名の者(※1)
2. 1を除く「情報ネットワーク施工」職種予選会(光)(1)(2)(3)に出場した全選手の中で、上位5名の者(※2)
3. 「情報ネットワーク施工」日本一決定戦(メタル)の各回(1)(2)において、上位1名の者(※3)
4. 「情報ネットワーク施工」日本一決定戦(メカスプ)において、上位1名の者(※4)
5. 「情報ネットワーク施工」世界一決定戦(光)において、上位1名の者(※5)

※1 計3名となる。なお、この者が仮に他の回の2位以下の接続数でもOKとする。なお、光ケーブルは主催者準備とする。

※2 5名を予定しているが、足切り接続数(120ポイントを予定)を設け、それ以下の者の場合は5位以内でも推薦しない。

※3 計2名となる。なお、この者が仮に他の回の2位以下の接続数でもOKとする。また、本プログラムは、参加年齢条件がないため、一般の方が1位の場合は2名以下の推薦数となる。

※4 本プログラムは調整中である。なお、メカスプの工具・素子のメーカーは指定する(主催者準備)。

※5 1位の者が五輪参加年齢を満たさない場合は、その所属企業に推薦枠を与える。この推薦枠で出場する選手は、予選会を通過している必要はないものとする。

※6 各プログラムへの重複出場は可とする。ただし、同一者が重複して上記推薦条件を満たした場合は、予選会(光)を優先し、他の各プログラムの推薦者は2位の者とする。なお、それでも重複している場合は、【条件2】の6位～8位の者から順次推薦する。この時点で推薦者数に達しない場合は、原則として打ち切りとする。

※7 【条件1～5】の総数は12名であり、もう1名の推薦方法は検討中である。